

YRS
ユアーズ



横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウエーブ

第174号



ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2018 開催しました

7月20日(金)～21日(土)の2日間、当事業団主催のイベント、ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2018(愛称:ヨツテク)がパシフィコ横浜展示ホールDで開催されました。私たち聴覚障害者情報提供施設のブース、「音や聞こえを快適に」にもたくさんの方がお越し下さり、にぎやかな2日間となりました。

例年ご協力いただいている千里福祉情報センター横浜支店様の聴覚障害関連の機器展示では、電話の相手の声を文字に変えることができる「テレホンテキスト」への関心が高く、難聴の学生さんから「おばあちゃんと電話をする時に使ってみたい」という感想もありました。

また、今年初めて展示を試みた、聴覚障害者向けの「観劇サポートシステム」の紹介では、NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク様にご協力をいただきました。情報提供施設の聞こえない職員自らが体験した観劇レポートの展示とともに、団体の活動の紹介を行いました。字幕メガネやタブレットを用いた最新の字幕表示技術に驚かれる方が多い一方、まだまだ限られた劇場や公演でしかサービス提供がなされていないことに「残念だ」「もっといろいろなところで使えたら良い」などのご意見も多くありました。

今年はクイズを用意し、楽しみながら「聞こえない、聞こえにくい」ことについて考えていただく2日間になったのではないかと思います。

来年は7月26日(金)～27日(土)に開催予定です。ぜひご来場ください。



ブースに立ち寄って頂いた皆さんから、付箋にご意見をいただきました

字幕付きミュージカル 開催しました

7月28日(土)～29日(日)の2日間、ラポールシアターで、横浜市民こどもミュージカル「忍SHINOBI」～ヒーローになりたい君へ～が、計3公演開催されました。今回は神奈川県マグカルコンペ・最優秀賞受賞記念公演として開催され、横浜市民ミュージカル公演実行委員会が主催、当事業団が共催しました。



当日は台風の影響で天候が心配されましたが、全て立ち見が出るほどの沢山の皆様に来ていただきました。6回目の公演を迎えるこのミュージカルに今回初めて字幕が付きまして、日本語字幕制作・投影は、字幕サークル「まじっく」が担当しました。公演のセリフが早かったのですが、スムーズに字幕を投影することができ、聴覚障害のお客様にも公演を楽しんでいただくことができました。今後の字幕付き公演の情報は紙面でお知らせします。

派遣事業

平成30年度 第1回

横浜市手話通訳者・要約筆記者派遣事業運営委員会を開催しました

7月11日(水)、標記運営委員会を開催しました。

まず、健康福祉局吉原係長から30年度4月の派遣事業実施要綱改訂箇所の説明の後、派遣担当職員から平成29年度派遣事業概要報告をおこないました。その後、各団体から寄せられた議題を元に意見交換しました。横浜市聴覚障害者協会からは、手話通訳技術向上を目的とした派遣事業と養成事業との情報共有のあり方、横浜市中途失聴・難聴者協会からは、派遣に関するルール(依頼団体としての留意事項等)の明文化について、要約筆記者協会からは、現時点で要綱上派遣対象外となっている内容(政治活動等)の情報保障のあり方についてご意見をいただきました。

今後も、派遣事業の円滑な実施に寄与する、充実した協議の場となるよう取組みます。平成30年度第2回目の委員会は、平成31年1月、2月に開催予定となっています。

派遣事業

【参加報告】

平成 30 年度 意思疎通支援担当者研修会

7月25日（水）～27日（金）の3日間、全国聴覚障害者情報提供施設協議会（以下、「全聴情協」）主催の上記研修会が京都市内で開催され参加し、全国37施設から47人の担当者が集まりました。

1日目は、九州産業大学人間科学部臨床心理学科教授・精神保健福祉士・手話通訳士の倉知延章氏によるピアスーパービジョンについて講義と実践を行いました。2日目は、「電話リレーサービス」をテーマに、全聴情協理事・メディア専門委員長の小竹安治氏による、滋賀県ほか実施施設の現状報告と今後の方向性や課題についての講義、（一社）日本手話通訳士協会会長の小椋英子氏による「対人援助としての手話通訳」について講義がありました。その後、午前と午後の講義内容を受けてグループ討議を行いました。3日目は、「社会資源とネットワーク」をテーマに、（一社）日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会会長・精神保健福祉士・社会福祉士の稲淳子氏による講義を受けました。

スーパーバイザーの確保ができないとき、専門職である通訳者同士が対等な関係で行うグループスーパービジョンが有効であること、電話リレーサービスの現状からは通信サービスか福祉サービスか、制度化にあたって課題があることなど、多くのことを学びました。職員間で共有し、今後の業務に活かしていきたいと思えます。



普及啓発

『横浜市民防災センター』で 模擬体験&意見交換をしました

6月28日（木）、一般社団法人横浜市聴覚障害者協会の井上良貞理事長と当施設職員が「横浜市民防災センター」に行ってきました。横浜市民防災センターからご依頼を受け、施設・展示が聴覚障害者にとって利用しやすいものになっているかを体験ツアー（基本ツアー約60分）に参加して確認し、その後、意見交換会を行いました。体験ツアーはインストラクターの解説付きで、消火器を使った消火訓練や、地震シミュレーターに乗り地震を体感したほか、減災トレーニングルームでは、一般家庭をイメージした部屋のなかで、災害発生から避難までを疑似体験しました。意見交換会では、聴覚障害者にとっても利用しやすかった、ろう学校の生徒さんにもぜひ参加呼びかけを、などの意見が出されました。



ぜひ、みなさんもお家族やお友達と一緒に「横浜市民防災センター」へ行ってみてください。

神奈川県司法書士会の方を対象とした研修を行いました



7月9日（月）、神奈川県司法書士会の皆さんを対象とした研修および施設見学に対応しました。当施設職員から「聴覚障害者情報提供施設の業務説明と聴覚障害者の対応」をテーマに、聴覚障害者の基礎知識やコミュニケーション方法、手話通訳・要約筆記者派遣制度についての講義と、聴覚障害者相談事業担当から、司法書士と相談担当との連携について、成年後見制度等を利用する聴覚障害者の対応状況を例に挙げて説明しました。

相談事業

【参加報告】 関東ろうあ者相談員連絡会

7月31日（火）、第2回関東ろうあ者相談員連絡会が聴力障害者情報文化センター（東京都目黒区）で開催され、23人が参加し、当施設から3人の相談員が参加しました。講師に田門浩弁護士をお招きし、「司法との連携のために事例から学ぶ法律」をテーマに事例発表と相続についての講演がありました。

また、旧優生保護法の調査の件や、最近受けた相談についてなどの情報交換が行われました。





【実施報告】 手話通訳者全体研修



「医療通訳としての手話通訳」

6月30日(土)、I M A I (INTERNATIONAL MEDICAL INTERPRETERS ASSOCIATION) 日本支部 手話通訳分科会長 寺嶋幸司氏をお招きし、標記テーマで研修を行い101人が出席しました。I M A Iとは、プロ医療通訳者の育成と発展を促進する世界最大の医療通訳者の職能団体です。講師は、枚方市の医療通訳制度の実現にも大きく寄与された方で、最初に音声医療通訳の状況と現状に驚き、医療通訳士倫理規定を通して同じ通訳者として、通訳の基本を学びました。派遣数の一番多い医療場面には、音声通訳と同様、医療知識を持って通訳を担うことが望ましいと考えて活動されているとのことのお話もありました。派遣場面が多様化する中、医療関係は手話通訳においても最もニーズのある通訳場面ですが、その通訳を担う上で医療そのものの知識を深めることの重要性について考えさせられた研修でした。

「手話言語学」

8月4日(土)、国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科主任教官 市田泰弘氏をお招きし、90人が出席しました。日本手話の言語学的な特徴「使役表現」に絞り、日本語・英語と比較しながらのお話でした。短文を用いて文章の構造を考える実践を通じ、手話は言語であることを実感するとともに、言語としての手話のおもしろさと、難しさを痛感する内容となりました。手話を言語学的にもっと学びたい、知りたいという意欲が会場から感じられた研修でした。言語として手話を学ぶ機会を今後も計画し、自己研鑽につなげていきます。

手話通訳・要約筆記者合同研修

「医療場面における情報保障者にもとめられるものは」

6月16日(土)、筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター助教 小林洋子氏をお招きし、標記テーマで研修を行い93人が出席しました。講師は、米国の大学院で学ばれ、一昨年「聴覚障害者、ろう・難聴者と関わる医療従事者のための手引き」を共訳されました。講義の内容は、米国での経験と調査結果、聴覚障害者の実態と課題でした。聴覚障害者は医療機関の利用割合は高いが医療サービスへの満足度が低いとのことのお話がありました。機会があれば、海外での具体的な事例をお聞きし、異なる日本の医療事情の中で情報保障者がどう工夫し対応できるのか考えていきたいと感じた研修でした。

「耳の医学」

7月30日(月)、横浜市総合リハビリテーションセンター 発達支援部担当部長(耳鼻咽喉科 医師) 持松いづみ氏から標記テーマでご講義いただき、84人が出席しました。耳の構造や働き、音の伝わり方などを改めて学ぶことができました。聴覚関係における最近の話題として、人工内耳に関する研究・技術は、めざましく進歩していることを知りました。通訳者として、聞こえに関する基本知識はもちろん、最新の動向を専門的に学ぶ機会には必須であると再確認した研修でした。



要約筆記者研修会

8月1日(水)、全国要約筆記問題研究会から坂部美秋氏をお招きし、「要約筆記者の倫理綱領」について講義をしていただきました。この倫理綱領は、全要研が障害者総合支援法・地域生活支援事業で実施される要約筆記事業を担う要約筆記者に必要な規範を定めたものです。倫理綱領は通訳実践と結びつけて考えることで、初めて意味のあるものになるというお話がありました。来年はぜひ事例検討の形で研修を行い、さらに学びを深めたいと思います。



ラポールの祭典2018

「聴こえない世界」をのぞいてみよう!

今年は「スポーツ」や「文化」で活躍している聴こえない方の講演があります!また、振動と光によって音の特徴を感じ取る装置「Ontenna (オンテナ)」実物の使用ができます。さらに手話を学んだり、要約筆記(手書き&パソコン)の体験もできます。その他、パネル展示など内容が盛りだくさん。皆様のご来場をお待ちしております!

日にち:平成30年9月2日(日) 10:00~15:00

場所:障害者スポーツ文化センター横浜ラポール 2F大会議室A B

メインステージ 会議室A

①岡部祐介 選手「私のチャレンジ」

11:00-11:20

②石川絵理 氏「みんなで一緒に舞台を楽しもう!」

13:40-14:00



メインステージ 会議室A

・ミニ手話教室 ①11:30-11:50 ②13:10-13:30

・音を感じてみよう♪Ontenna (オンテナ) 体験

サブフロア 会議室B

・要約筆記(手書き&パソコン) 体験コーナー

・展示コーナー(デフリンピック、観劇体験記、防災関連など)



出た!データ!

(7月末までの累計)

■通訳者の派遣・紹介人数

内容	手話通訳	要約筆記	合計	昨年同月	相談事業	実件数	対応数
医療・保健	1,911	87	1,998	1,813	医療	50	91
司法	17	0	17	32	職業	11	14
教育・保育	334	26	360	333	教育	2	2
労働・雇用	269	25	294	273	住宅	10	14
社会生活	506	72	578	454	生活	83	126
自己啓発	111	23	134	125	福祉	74	127
福祉推進	324	519	843	805	法律	4	10
相談員	1	0	1	0	聞こえ	4	4
他都市	63	3	66	62	合計	238	388
合計	3,536	755	4,291	3,897	昨年同月	181	277
昨年同月	3,146	751	3,897				

■聴覚障害者の相談

■通訳者の現任研修

手話	回数	16	参加人数	562	自主制作作品数	22
要約筆記	回数	11	参加人数	162		

■映像・字幕制作

情提の動き

7月

- 2 手話1年次研修
- 3 要筆新人研修
- 3 浜難聴との打合せ
- 3 手話課題別研修
- 4 要筆現任研修
- 7 手話課題別研修
- 8 手話講師伝達研修(横聴協)
- 9 司法書士会啓発研修対応
- 9 手話専門研修
- 10 議会局との打合せ
- 11 派遣事業運営委員会(合同)
- 13 手話養成運営委員会(横聴協)
- 17 要筆新人研修
- 18 配置手話通訳状況視察(戸塚区役所)
- 20~21 ヨッテク
- 23 衛生委員会

- 24 手話2年次研修
- 25 主管局定例会議
- 25 県民ホール啓発研修対応
- 25~27 全聴情協意思疎通担当者研修(京都)
- 26 救急法講習会
- 27 横聴協・通訳者協会との懇談(防災関係)
- 27 旭区市沢消防署研修視察
- 28 手話統一試験説明会(京都)
- 28~29 字幕付きミュージカル(TSHINOBI)
- 30 手話・要約合同研修
- 31 関東ろうあ者相談員連絡会

8月

- 1 関東ブロック映像制作担当者会議
- 1 要筆現任研修
- 2 非常勤手話採用試験

- 2 検察庁通訳配置打合せ
- 2 要筆現任研修
- 4 手話全体研修
- 6 JVC視察(聴覚障害対応機器)
- 6 手話1年次研修
- 7 横聴協、浜難聴との協議(防災関係)
- 10 川崎情提所長との打合せ
- 11~12 精神保健福祉研究会(港区)
- 13 指定管理第三者評価委員会
- 14 機器点検
- 20 事業団研修
- 20 手話養成運営委員会(横聴協)
- 20 浜の会茶話会
- 21 配置手話通訳状況視察(中区役所)
- 23 手話登録試験委員会(横聴協)
- 28 手話3年次研修
- 29 全聴情協第三ブロック研修(群馬県)
- 30 小グループ研修

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェーブ》

発行日:平成30年8月31日

発行者:(社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL.045-475-2057 FAX.045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>